

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大砂土東小学校** > > > > > > >

- 1 学校教育目標 「心ゆたかに」「かしこく」「たくましく」
- 2 めざす児童像
元気な心と体をもち何事にも
進んで取り組むことができる児童の育成
- 3 めざす児童像を実現するための3つのG
Grit 「やり抜く力」で真の学力を育成する。
Growth 一人ひとりの成長を支え障害学び続ける力を育成する。
Global 国際社会で活躍できる人材を育成する。



■所在地：さいたま市見沼区大和田町2丁目998番地 ■電話：048-684-8003
■FAX：048-684-8965 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅より徒歩15分

01 授業を核としたSDG s 教育の推進



各教科等の指導内容にはSDG s 教育と関連した内容が数多く含まれている。各教科の授業を通じて、SDG s 教育の推進を図ることが学校や児童に対しても非常に効果的であると考える。

特に総合的な学習の時間においては、第3学年【地域】「地いきの すてき発見」、第4学年【福祉】「共に生きる～人にやさしいまちへ～」、第5学年【国際理解】「こんにちは世界の友達」、第6学年【伝統・文化】「発見！MY世界遺産」の単元を設定し、SDG s 教育の推進を図っている。



02 給食に関する様々な取組による啓発活動



本校では、給食を残さないことも大切にしているが、食べ残すことが義務のようになってしまい、残した児童が責められるようなことがあってはならない。児童が給食を美味しく感じて、給食を食べることが楽しく、しかも生産者や調理をしてくれた方への感謝の気持ちをもって食べられることを大切にしている。

そのための給食指導での具体的な取組としては、給食時間の給食委員会による放送を毎日実施している。給食委員会の児童が給食のメニューについて、その料理の由来や食材についての詳しい内容を紹介している。また、家庭に向けては「給食だより」を配付し、家庭で児童と給食についての会話を啓発している。さらに、給食週間の実施やセレクト給食、給食コーナーの活用などの取組を行っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 見沼小学校** > > > > > > > >

【学校教育目標】

考える子 元気な子 仲良くする子

㊦ んな仲良し ㊦ くもりのある ㊦ ここの学び舎

【目指す児童像】

世界と向き合い、ゆめをもち、発信力のある子



■所在地：さいたま市見沼区東大宮 2-4-5 ■電話：048-663-7342
■FAX：048-663-9887 ■交通：JR 東大宮駅西口徒歩 15 分

01 「個別最適な学び」の実現のために



本校では、「個別最適な学び」を実現するために、毎週水曜日（火曜日）の業前時間には、「スタディタイム」として、タブレットを活用して個別の学習に取り組んだり、動画を活してより理解を深めたりしています。

授業時間内でも「ミライシード」や「スタディサプリ」を効果的に活用しています。例えば、発展的な問題に取り組むことで得意分野をさらに伸ばしたり、前学年の問題を振り返り苦手分野を克服したりするなど、自分の力に見合った学習を選択して取り組んでいます。

さらに、学習やタブレット活用におけるつまづきを解消することができるよう、自立学習ルームの整備など環境を整えています。

また、体育の時間にカメラ機能で動画を撮影し、自分や友達の技の修正点等を探したりしています。さらに、学級の係活動でも、調べ物をしたり新聞を作成したりする等、活用場面を自分たちで考えながら様々な活動に取り組んでいます。

様々な場面で、ICT 環境を最大限活用し、個の学びを深めたり、活動の幅を広げたりしています。



02 安全で安心な学校生活のために



本校では、児童が学校や普段の生活を、安全・安心に送ることができるよう、各学年で下記の取組を実践しています。

それぞれの活動では、専門家の方を講師としてお招きし、発達段階に応じたお話や体験活動を行っています。活動を通して、児童一人ひとりが安全・安心な生活のために、自分にできることを考え、日々の生活に生かせるようにしています。

また、今年度も児童会が中心となっていじめ撲滅のために、全校で何ができるのかを考えて実践しています。安心した学校生活を送ることができるように「あいさつ運動」や「あいさつ隊」等、全校児童が同じ目標に向かって活動を継続していきます。

1 年：交通安全教室	2 年：防犯教室
3 年：スマホ・タブレット安全教室	4 年：自転車免許教室
5 年：スクールロイヤーによるいじめ予防教室	
6 年：スマホ・タブレット安全教室、スクールロイヤーによるいじめ予防教室	
薬物乱用防止教室	



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。



学校教育目標

「たくましく 学びをつむぐ やなぎの子」

目指す児童像

や やりぬく子
な なかま思いの子
ぎ きまりを守る子
の のびる子・のびす子
こ こころざしをもつ子



明治六年開校
開校一五一年

■所在地：埼玉県さいたま市見沼区東新井2 4 4 番地の1 ■電話：048-683-3174
■FAX：048-683-8971 ■交通：JR 大宮駅からバス2 5 分 JR 北浦和駅からバス2 0 分

0 1 地域の自然を大切に守り継承する心の醸成



絶滅危惧種に指定されているクマガイソウは、本校学区内に自生地があり、御厚意で子どもたちが見学させていただいています。また、学区内には園芸農家が多く、多種多様の園芸樹木が色とりどりに栽培されています。子どもたちは日常的にこうした環境の中で生活しているだけだ

く、花しょうぶ園や洋蘭栽培の様子を見学するなど、学校生活の中で、地域の自然と多くふれあい、その美しさや価値について学んでいます。美しくかけがえない花を美しいと思う心や、他の場所にはない希少植物を守っていこうとする心を育てていきます。



0 2 地域で育つ・地域と育つ



明治6年(1873 年)開校の本校は、親子何世代にもわたり本校卒という家庭も多く、学校と地域との関わりは、とても深く、温かなものとなっています。地域の伝統文化継承を目的としたお囃子体験、中学生と共にいる挨拶運動など、地域の中で自分の果たす役割を考える中で、地域を「ふるさと」として大切にしていこう子どもたちを育成しています。



0 3 いじめや差別を許さない心の涵養



クラスの友達や登校班で一緒になる上級生・下級生など、子どもたちは学校生活で過ごすさまざまな集団の中で多くの他者と関わっています。仲間と共に生活する中で、多様性を尊重

しながら、人として許されない行動は絶対に行わない気持ちを培っています。全市で行われるいじめ撲滅月間の活動はもとより、毎月のいじめ防止アンケートをはじめ、教育相談(毎月)、全校個人面談(年1 回)等の機会を最大限活用し、子どもの心の変化に迅速に対応できる体制を整えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 七里小学校** > > > > > > >

- 1 「なかよく助け合う子」「なんでもがんばる元気な子」「しっかり考えて学ぶ子」学校教育目標のもと、児童一人ひとりの可能性を伸ばす教育活動の推進
- 2 創立150年を超え、親子3代が関わる地域に根差した学校
- 3 合言葉は「えがお かがやく 七里っ子」



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 312 ■電話：048-683-3513
■FAX：048-683-8993 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 20 分

01 児童の安全・安心な「よりよい学校生活」のために



児童会長、各委員会委員長を中心に会議を設定し、各委員会が協力して児童会を運営していくようにしています。児童会運営にあたって、児童会テーマに沿った活動計画は児童中心に考え、実行しています。児童全員が安心して充実した学校生活が送れるよう、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ撲滅の木」や「あいさつ運動」に取り組むことも、その活動の一部です。

また、全学年が揃った縦割りグループを構成し、異学年交流を行っています。どの学年も楽しめる遊びを計画し活動することで、相手を理解し、助け合う心が育っています。

02 児童と地域のよりよい生活のために



給食委員会では、「もりもりキャンペーン」をとおして残菜ゼロを目指す取組を行っています。給食室の1日をビデオ放映したり、完食を目指す「元気もりもりの木」を作成したりして、今ある食べ物を大切にできるよう指導しています。また、美化掲示委員会では、校庭のごみ拾いや落ち葉拾いを常時活動として活動しています。PTA やおやじの会と協力して年2回「クリーン活動」も行い、学校や地域の環境美化に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

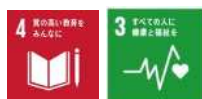
さいたま市立 春岡小学校



- 1 学校は勉強をするところ⇒基礎学力の保証
- 2 学校は友だちと仲よくするところ⇒自己指導能力の育成
- 3 学校は安心・安全なところ⇒すべての教育活動の前提

■ 所在地：さいたま市見沼区春岡 2 丁目 29 番地 1 ■ 電話：048-683-3281
 ■ FAX：048-683-8974 ■ 交通：東武アーバンパークライン七里駅から徒歩 20 分 JR 宇都宮線
 東大宮駅から国際興業バス アーバンみらい循環 春岡二丁目バス停下車 徒歩 5 分

01 ICTで未来の授業づくり



本校では令和5年度から「教科・領域における効果的なタブレット端末

末の利活用法の開発」を研究主題に、指導の個別化を意識しながら基礎・基本の定着を図る指導の工夫について、研究を深めてきました。教員で研修を重ね、児童が身に付ける技能の系統表を作成したり、新しいソフトの活用を進めたり、児童がより学習を効果的に身に付けることができるよう、考えています。

令和6年度は、それまでの研修内容をさらにステップアップさせるため、学習効果を高める教材の開発や、知識・技能の定着を目指した活用をより進めていくことで、基礎学力の向上を目指していきます。



02 自己指導能力の育成のために



本校では、自己指導能力を育成する上で、「わかる授業」

を重要視しています。授業では児童の「できた」「わかった」「もっとやりたい」という気持ちを引き出し、自信や意欲につなげ、自己存在感を醸成しています。

また、特別活動では、なかよしペア学級による縦割り活動で異年齢交流の機会を設定しています。また、委員会活動やクラブ活動を充実させたり、学年行事では実行委員会を組織し、児童による自治的な運営を、意図的・計画的に体験させることを通して、自己指導能力の育成に努めています。

さらに、さいたま市独自の教育課程である「人間関係プログラム」に取り組むことにより、人間関係形成のためのスキルも身に付けさせ、実際の場面でいかすことができるように見守っています。



03 安全で整備された教育環境づくり



本校では、月1回の定期的な安全点検に加え、毎日の点検も行っています。PTAでは、黄色の防犯ベストを全家庭に配付し、来校時等での着用を促しています。犯罪の抑止力が期待されるだけでなく、保護者の防犯意識が高まり、児童の安心・安全につながっています。児童の心のケアとして、日々の観察やアンケート調査等から児童の発する小さなサインを見逃すことなく迅速な対応ができるように努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

> **さいたま市立** **蓮沼小学校** > > > > > > >

- 1 「かしこく」「やさしく」「たくましく」の学校教育目標のもと、すべての児童が生き生きと学ぶ楽しい学校づくりを進めています。
- 2 開校51周年を迎え、明るく活力に満ちた学校、互いに学び磨き合う学校、整備され安全な学校、地域に開かれた学校を目指しています。
- 3 自分の力で考える子、みんなと協力する子、心身ともに健康な子、人との関わりを大切にしている子の育成を目指しています。



■所在地：さいたま市見沼区蓮沼1070 ■電話：048-684-3678
■FAX：048-684-8964 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩10分

01 基礎・基本を身に付け、自ら学ぶ子どもを育成するために



本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現、自ら学び、学びを生かせる児童の育成を目指し、本校の課題（さいたま市学習状況調査の結果等をもとに本校の課題を分析）に合わせて、「個に応じた指導」の充実に努めています。また、GIGAスクールを推進し、児童一人ひとりの学習の状況に合わせて1人1台のタブレット端末の効果的な活用を充実させ、「個別最適な学び」を実現することで基礎・基本の確実な定着を目指します。「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を進めることで、自立した学習者の育成、学習の自己調整力の向上を目指します。さらに、職員研修を計画的に実施し、振り返りや準備を行うなど、さらに研究を進めています。

02 健康に対する意識を高め、よりよい生活を心がけるために



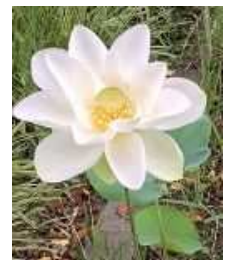
本校では、毎月1回朝の時間を使って、全学年一斉に保健指導を行っています。養護教諭を中心に、毎月の保健目標に関わる取り組みや講話、ハンカチ・ティッシュ調べ等を行うことで児童の健康に関する意識を高め、よりよい生活を心がける態度を育てています。また、外部講師を招いての保健教室や健康・安全に関わる職員研修などの充実に努めています。



03 自然を守り、共存していく大切さを学ぶために



本校は、四季を感じる木々や水辺の生き物が生息する観察池、各学年の育てる花や実のなる学年園、校庭の芝生など、多くの自然に囲まれております。そのため、生活科や理科において、敷地内で草花や生き物の観察、木の実や落ち葉などの採集をすることができます。PTAや地域の方々などの協力を得ながら、児童や職員が定期的に世話をしたり、管理したりすることで、自然を守り、共存していくことの大切さを学ぶ機会につながっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標 『生き生き きれいな学校』

＜めざす児童像＞

「自ら学び、自ら活動する子」 「豊かな心をもつ子」 「最後までがんばる子」

◎子どもたち一人ひとりが「通ってよかった、大谷小！」と思える学校づくりの推進

■所在地： さいたま市見沼区大字大谷 18 番地 ■電話：048-685-8511
■FAX：048-685-5137 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅から徒歩

01 環境教育の充実

委員会活動、PTA 活動の継続的なリサイクル活動の取組



本校では、資源リサイクルの活動に取り組んでいます。委員会活動では、チョボラ委員会を中心に、ペットボトルキャップ回収に取り組んでいます。全校児童に呼びかけ、各学級に設置している回収箱のチェックを行っています。多くの児童が、家庭等で集めたペットボトルキャップを積極的に持ってきています。

美化委員会では、紙ごみの回収に取り組んでいます。紙専用のごみ箱を各学級に設置し、余ったプリントや工作などで使った紙の切れ端などを他のごみと分別し、リサイクルごみとして出しています。

PTA 活動では、月2回古紙回収を行っています。牛乳パックや段ボールを児童が持ってきています。地域の方のご協力もいただき、毎回、たくさんの資源が集まっています。

今後も継続していくことで、資源の再利用の大切さや環境問題等について考える児童を増やしていきたいと考えています。

02 学びの向上大谷小プランの取組

「学ぶ楽しさを味わい、自ら学びに向かう児童の育成」を目指す授業の推進



本校では、昨年度から「学びの自律化と個別最適化そして探究化」についての研究について、研究推進委員会を中心に国語科・算数科の学習や特別支援教育についての研究を進め、教材研究等に組織的に取り組んでいます。

また、毎週金曜日の業前の時間に、「によきによきタイム」を設定しています。これは、国語科・算数科における基礎学力定着のための時間です。ICT機器の活用や詩の音読、新聞記事を使った読み取りなど、毎回、各学年で工夫しながら取り組んでいます。

児童一人ひとりが主体的に学習の意取り組み、基礎学力の定着を目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。



本校は、知・徳・体・コミュニケーションの調和のとれた豊かな人間性と、広い視野をもち、社会を生き抜く力を身につけた児童の育成を図るため、子ども、教員、保護者、地域社会等それぞれの立場の共通の目標を教育目標として掲げている。

〈学校教育目標〉

やさしく	思いやりのある子	思いやる心 感動する心 協力する心
かしこく	考える子	思考力 創造力 判断力 表現力
元気よく	元気な子	心身の健康 実践力 体力



■所在地：さいたま市見沼区島町 533-2

■電話：048-685-0607

■FAX：048-685-5187

■交通：JR 宇都宮線 東大宮駅 東口徒歩 20 分

01 「考える子」を育てるために、教員の授業力の向上と子どもの「真の学力」の育成をめざす



本校では、望ましい学習習慣の形成と基礎学力の向上を図る学習指導を実践しています。学習規律や学習ルールを徹底させ、学習への取組意識を向上させるとともに、全家庭へ「家庭学習のすすめ」を周知・啓発し、学習の習慣化を図っています。「考える子」を育てるために、「主体的」「対話的」「深い学び」な活動を取り入れた授業を展開し、全ての教科で体験的な学習や問題解決的な学習を充実できるように、全教職員が ICT 機器をはじめ教材や教具を有効に活用できるようにすること、少人数指導や TT により、一人ひとりの児童の学習状況に応じたきめ細やかな指導を実践しています。



また、引き続き、小中一貫した授業規律の確立と児童の発達段階に即した系統的な指導を行っています。

02 開かれた学校づくりの推進



本校では、文書配信アプリやウェブページ等をととして保護者・地域に積極的な情報発信を行っております。また、地域に根ざした教育を推進するために、地域の人材や周辺施設を活用した学習（1年昔遊び・2年町たんけんなど）にも力を入れています。また、地域とともに学校を作ることを目的とした学校運営協議会では、地域の有識者の方を委員としてお迎えし、多面的・多角的にご意見を頂くことで、地域に根差した学校運営を行っております。その他、学校施設を地域に開放することや土曜・放課後チャレンジスクールを実施しております。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

東宮下小学校



- 1 「かしこく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心もち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。
- 2 見沼の豊かな自然環境を生かし、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には稲刈り、

そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。

春、1 学年児童は、田んぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 学年ともなると友達と協力しながら、田に実った稲穂を収穫していく。収穫後は、「東宮下米」として販売を行った。また、販売して得たお金を用いて地域の農業指導者からもち米を購入し、地域の稲作指導者を招いて、学校全体でお餅つきの体験活動を行った。

5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを「東宮下米づくりを受け継ごう」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を社会科の学習において発表している。



02 ヨーロッパ野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必要な資質・

能力を身に付けることができるように「ヨーロッパ野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

さいたま市内の種苗会社から学習のために苗を購入し、地域の農家へ発芽から苗まで育ててもらい、地域連携コーディネーターを通じて連携を図りながら、学級担任が、地域の農業指導者や地域の企業の力を借りて学習を進めている。

児童は、種苗会社から種を購入し、地域の農業指導者にヨーロッパ野菜の苗まで育ててもらい、その苗を学校畑で植えて育てている。害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、夏場の水やりの仕方や雑草抜き、収穫の仕方などの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞いて販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し、学校や企業、農家へ還元していく等の働く喜びを実感できる活動を行っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

海老沼小学校



スローガン

かしこく やさしく たくましく生き抜く子 笑顔と挨拶があふれる学校づくり

めざす児童像

主体的に考える子

(知) かしこく

思いやりや感動する心をもった子

(徳) やさしく

心身ともに健康な子

(体) たくましく

生涯学び続ける子
(生き抜く子)

めざす学校像

学ぶ喜びのある学校

人との関わり合いを大切に、地域と共に歩む信頼された学校

安心・安全で美しい学校

めざす教師像

確かな授業力を持ち、個に応じた指導ができる教師

豊かな人間性を備え、子どもに添った指導のできる教師

教育者としての使命感のある教師

■所在地：さいたま市見沼区大字東新井7 1 0 番地 5

■電話：048-686-2125

■FAX：048-686-5350

■交通：JR 大宮駅東口よりバスで南中野バス停下車 5 分

0 1 すべての生き物を大切にする豊かな心を育む環境教育



本校には、自然を学び、親しむことのできるビオトープが整備されています。昨年度、SDG s アワードに向けて改めてビオトープの歴史や役割を学び直す取組を行いました。設置当時のことをよく知っている方や当時の PTA 会長の方にも話を聞くことができ、ビオトープには「親しむ」「知る」「続ける」のサイクルがあることや設置した後に何度も整備され、大切にされてきている話を聞くことができました。児童会活動を中心にして今ある環境にかかわりながら、守り豊かにし、すべての生き物を思いやる心を育てています。



0 2 世界すべての人の幸せを願って行動する心育む福祉教育



児童委員会の一つである環境委員会の取り組みとして、ペットボトルキャップを回収しています。これは回収業者に資源として引き取られ、その時生じた金額の一部が、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付されます。その後当委員会はユニセフと連携して世界のワクチン工場へ発注し、製造・空輸されて支援国に届けられます。どの学年の児童も、この取り組みに参加し環境委員会児童はペットボトルキャップの収集率が上がるよう、様々な工夫を凝らしています。この取り組みが、児童の互いに助け合おうとする心を育む一端を担っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

春野小学校



目指す学校像

「元気いっぱい 笑顔いっぱい 感動いっぱい 春野っ子」

- 1 学ぶ楽しさや喜びを味わい、互いに磨き合うことができる学校
- 2 安全に配慮し美しく整えられた環境づくりがなされている学校
- 3 家庭・地域との連携を深め、地域と共に生きる学校



■所在地：さいたま市見沼区春野 1-10-1 ■電話：048-685-3055

■FAX：048-685-3488 ■交通：東大宮駅よりバスで「春野小学校」下車 徒歩 2 分

01 環境保全に寄与する児童を育てる環境教育の充実



本校は環境教育の取組を教育活動の柱の一つに位置付けています。本校の目の前には多目的遊水地があり、ここには、一年を通して野鳥が飛来し、絶滅危惧種のタコノアシの自生も確認されている自然豊かな場所です。本校は、この立地条件を生かし、総合的な学習の時間を中心に、地球に優しい主体的な行動がとれ

る児童の育成を目指しています。

総合的な学習の時間では、多目的遊水地の生き物調査やごみ調査をもとに考え、議論し、「ごみ〇作戦」を実践、委員会の活動では、グリーンカーテンづくり、絶滅危惧種タコノアシの栽培・繁殖、牛乳パックリサイクル事業への協力、学校単位として、ごみの分別、PTAと連携した古紙等の資源回収事業への協力を行っています。

また、昨年度の取組を継続し森林資源（＝陸の豊かさ）の保護として配布文書のペーパーレス化を推進しています。



02 「自助」・「共助」ができる児童を育てる防災教育の推進



いつ発生するか分からない地震、火災等の自然災害に対して、正しい判断をし、自分の命を自分自身で守っていく力を児童に身に付けさせていくことも学校教育においては大切です。

本校では、「自ら安全な行動ができる」、「自らの命は自分で守ることができる」児童の育成を目指しています。

これまで第6学年での実施でしたが、より学習内容に則して実際の行動につなげるため第4学年での実施とし、これまで学んだ知識に加えて、起震車体験を通しより防災への理解を深めています。安全指導では、地震や火災だけではなく、竜巻対応訓練、シェイクアウト訓練、防火シャッター作動・防火扉体験訓練等の多様な訓練を実施しています。



03 地域の特色を生かした「春野っ子米スマイル30プロジェクト」



創立 30 周年を契機に、地域の特色を生かして児童自身が米作りを体験し、できあがった米を給食としていただく「春野っ子米スマイル30プロジェクト」を実施しました。1度かぎりの取組にならないよう実施学年を第5学年のみとし活動内容も精選することで持続可能な取組としています。

